

## ■ アドミッション・ポリシー

### <経済学部>

経済学部では、商都大阪を基盤にし、世界に通用する経済教育を目指しています。

経済学の知的最前線を学ぶ中で、経済分析力や論理的思考を身につけ、問題解決力や構想力を培い、卒業後も生涯にわたって学ぶ姿勢を保つことができ、行動力とチームワークを身につけたビジネスリーダーを始めとして、社会に役立つ人材の養成を目標としています。

こうした目標を達成するために、経済学部では、

- (1) 政治・経済・社会問題に対して知的好奇心をもち、自主的・積極的に問題解決に取り組もうとする強い意志を持ち
  - (2) 豊かな構想力と人間性を身につけるために、経済学を中心に幅広い分野の学問を積極的に学ぶ意欲と能力
  - (3) 経済学に関する専門知識を活用して、経済・産業界のリーダーとして活躍しようとする意欲
- 以上のような意欲と能力を持つ入学者を求めています。

経済学では、経済現象だけでなく、世界や日本の歴史、社会問題を分析する研究や学びを行います。そのために、国語、地理歴史、公民、数学、英語などの各科目についての知識を有し、それらの基本的理解をしていることが必要です。

たとえば、経済統計を学ぶには数学の知識が、グローバル化著しい経済を理解するには歴史や地理の知識が、文章を理解し正確なコミュニケーションをするためには国語や英語の知識とその運用能力が必要です。

これらの力は経済学を学ぶ上でぜひ身につけておきたい能力です。

### <経営学部>

経営学部では、経営および関連領域に関する知識と実践的な経験を通して、企業やNPOなどの継続的的事业体の活動に応用できる能力を身につけた社会的責任感のある学生を養成することを目的としています。こうした目標を達成するために、経営学部では

- (1) ビジネスおよびビジネスに関わる内容に関心がある
- (2) 自分の意見や体験を適切な表現で表明できる
- (3) 物事を論理的・数量的に考えることができる
- (4) 自らのこれまでの活動成果を大学での学びに活かそうとする

といった意欲とこころざしを持ち、自ら設定した目標に向かって主体的に行動できる学生の入学を期待しています。

経営学部では、企業や組織の経営に関するさまざまな分野の諸科学を学びます。そのためには、国語・地理・歴史・公民・数学・英語などの各科目について知識を有し、それらの基本的理解をしていることが必要です。また、文章を正しく理解し、正確なコミュニケーションを図るためには、日本語の知識とその運用能力は必須です。さらに、ビジネスの現場では、数量的な思考に基づく経営判断が必要であったり、身近な仕事で外国語能力を要求されたりすることがあります。これらの基礎的な能力も経営学部では必要です。

## <地域創造学部>

地域創造学部は、「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」に関する学修を通じて、幅広い専門知識と教養を身につけ、職業人として、また地域の生活者として、生涯にわたり学び続けるとともに、持続可能な地域・社会を創造することに主体的に参画する地域イノベーション人材を養成することを目的としています。

この目的を実現するために、地域創造学部では、以下に示す関心や意欲、幅広い基礎知識をもっている者を求めます。

- (1) 主体性をもって地域の様々な人や団体と連携・協働し、地域・社会に新たな価値を創造することや、より豊かな地域・社会を形成すること、持続可能な社会の創造に高い関心をもっている。
- (2) 家族や学校、近隣地域など自身が所属する社会（コミュニティ）において、政治・経済・行政・文化・福祉など日常的に展開される諸活動や社会（コミュニティ）を取り巻く問題・課題を考えることに高い関心をもっている。
- (3) 地域政策や地域経済、中小企業の活動などに関心をもち、卒業後に、地域活性化に関わる自治体や企業で活躍したいという強い意欲をもっている。
- (4) 暮らしをとりまくさまざまなデザインに関心をもち、卒業後に、地域の特性を踏まえた、都市インフラや居住空間、福祉、地域コミュニティを守り、育て、創造する分野で活躍したいという強い意欲をもっている。
- (5) 観光産業の基盤となる自然・文化・暮らしといった地域資源に関心をもち、卒業後に、観光を通じて持続可能な社会の実現を目指す分野に従事したいという強い意欲をもっている。
- (6) フードシステムや食文化などに関心をもち、卒業後に、食資源を活用した地域づくりに従事したいという強い意欲をもっている。

地域創造学は、経済学や経営学、社会学など複数の学問分野にまたがる学際的な学問です。加えて、地域（ローカル）を考えるためには、グローバルな視点も必要です。

そのため、国語・数学・地理・歴史・政治経済・公民・英語など幅広い科目の知識を身につけ、基本的な理解をしていることが必要です。

具体的には、地域の特色をとらえ、地域の問題・課題の解決策を考えるためには、地理・歴史・政治経済・公民といった知識が求められます。様々な地域を比較、分析するには基本的な数学の知識が必要になる場面もあります。

また、文章を正しく理解し、正確なコミュニケーションを図るためには、国語や英語の知識とその運用能力が必須となります。これらの能力は地域創造学を学ぶ上で、ぜひ身につけておきたい能力です。

## <社会学部>

社会学部では、社会のすべてのことが研究対象となります。人間社会をみつめ、「社会と人」や「人と人」の関係について考えるのが社会学部の学びです。その学びを通じて、豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身につけ、基礎的な社会学部の学問内容及び方法を理解できるようになる必要があります。

また、自ら設定した課題について、社会学の基礎的な研究方法を、用いて考察することができ、社会の諸相や人間の行動への関心を持って社会学に取り組み、社会における自分の役割を自覚することができるようになる必要があります。

さらには、生きた文化や生きた社会を創ることに寄与でき、他者の声に耳を傾け、自分の考えを言葉や文章よって的確に伝えることができ、社会学の知をもって地域や社会に参加できるようになることが重要です。そのような人材を養成することを目標にしています。

- (1) 大学の学びに必要な基礎学力としての知識や能力がある（知識・理解）
- (2) 物事を多面的かつ論理的に考察することができる（思考・判断）
- (3) 自分の考えを的確に表現し、伝えることができる（表現）
- (4) 社会、人間、文化、スポーツ、環境などにかかわる諸問題に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある（関心・意欲）
- (5) 積極的に他者と関わり、対話を通して相互理解に努めようとする態度がある（態度）

社会学では、すべての社会現象が研究対象となるので、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの各科目についての知識を有し、それらの基本的内容を理解している必要があります。

たとえば、文化論や社会環境、人間関係論を学ぶには地理歴史や理科の知識が必要となります。文章を理解し正確なコミュニケーションをするためには国語や外国語の知識とその運用能力が必要です。

これらの力は、社会学を学ぶ上でぜひ身につけておいてもらいたい能力です。

## <心理学部>

心理学部では、入学する皆さんに、さまざまな心理学領域の知識・技能を幅広く身につけることを目指します。さらに、多様な心理学教育を通して、心理学の専門家になるための基礎的な知識を身につけるだけでなく、心理学で学んだ知識・技能を社会の中で生かし、豊かな生活や人生を送るための教養教育を行うことを目標としています。

このような目標を達成するために、心理学部では、

- (1) 人間の心や行動に対する幅広い関心と探求心を持っている。
- (2) 自分や他者の心に向き合い、他者とのつながりの中でお互いが心豊かに生きるための知識・技能を学ぼうとする意欲がある。
- (3) 最初は難しくても理解できるまで努力する粘り強さを持っている。
- (4) 卒業後は学んだことを生かして社会に貢献しようと考えている。

以上のような心と意欲と能力を持つ学生を求めています。

心理学部では、専門の学術的な論文を読み、心についての実証的研究を行い、心理学の実践を進めていくために、国語、数学、英語などの各科目についての知識を有し、それらの基本的内容を理解している必要があります。

具体的には、心理統計学を学ぶためには数学の知識が必要です。また、英語を中心とした語学力は、欧米の学術論文を読むために必要です。さらに、日本語で書かれた文章の読解、自分の主張を他者に伝えるための語彙力・表現力等国語の力は、学問を学ぶための基本的な能力であると同時に、対人コミュニケーション力の基礎をなし、心理学を实践するうえでぜひ身につけておきたい能力です。

## <国際教養学部>

本学院の教育理念「独立自彊、社会有為」の下にある五つの教育理念のうち、とりわけ「国際的視野と国際的社会性、および地球的観点を持ち、人類の繁栄に寄与し、社会に貢献することのできる人物」を養成するのが国際教養学部の教育目標です。したがって、まずなによりも

(1) 学院の教育理念と本学部の教育目標に賛同し、積極的に学ぶ。  
これができる学生を求めています。

そのうえで、国際共通語としての英語を学び、国際的な教養を身に着けることを目指す「国際教養学科」では、

- (2) 異文化で暮らす人々やそこでの生活を知ることにより、自らを成長させたいと強く願う気持ちを継続的に持つ。
  - (3) 英語の運用力を高めるために、さまざまな学習スタイルや海外体験に積極的に挑戦する。
  - (4) 一定水準の学力、とりわけ「英語」の知識と運用能力を持つ。
- 以上のような意欲と能力を持つ学生を求めています。

また、日本文化を深く学び、世界と日本との関係を理解できる国際的教養人を目指す「国際日本学科」では、

- (2) 日本の歴史と文化に強い興味を持ち、これを異文化との比較の中でより深く学ぶことを望む。
  - (3) 日本文化について、日本語と外国語を用いて、国際社会に発信する力を身につけることを望む。
  - (4) 一定水準の学力、とりわけ「国語」の深い知識を有する。
- 以上のような意欲と能力を持つ学生を求めています。